

平成27年度 理科新任教員研修会 報告書

報告者 内藤 岳

実施日 平成27年11月25日(水)
実施校 静岡県富士見中学校・高等学校
参加者 部会長 坪井 利裕(富士見)
副部会長 内藤 岳 (富士見)
専門委員 永田 由美子(御殿場西)・山崎 昌幸(東海大静岡翔洋)
横山 力 (静岡大成)・下川 裕靖(常葉菊川)
伊藤 誠二 (浜松修学舎)
新任教員 17名
富士見理科教員 5名 合計 29名

研修報告

- 1 研修目標 『好奇心を刺激する理科』
- 2 開会式 13:15~13:35 (受付13:00~13:15)
部会長及び開催校挨拶 坪井 利裕(富士見中学校・高等学校 副校長)

3 公開授業 13:45~14:35 (5時限目)

(1) 増田絵莉先生

実施クラス 普通科進学コース2年5組理系コース

男子21名、女子17名、合計38名

実施科目と単元 化学(実教) 物質の状態と平衡 溶液

実施場所 化学室

授業内容 ①温度の変化によって溶解度の変化することの確認実験

②再結晶の仕組みについての実験

(2) 嶋田龍彦先生

実施クラス 普通科特進コース2年3組文系コース16名(男子3名・女子13名)

普通科進学コース2年1組文系コース15名(男子2名・女子13名)

男子5名、女子26名 合計31名

実施科目と単元 生物(数研) 細胞分裂と遺伝情報の分配

実施場所 生物室

授業内容 体細胞分裂の観察実験(フクシン発色法)

今回の授業のポイントは、実験や観察を通して『好奇心を刺激するような理科授業』というテーマで、二人の先生方に授業を行っていただきました。そのため、普段の進路と一部違う部分があったり、基礎科目の復習になっているところもありました。なかなか難しいテーマに取り組んでいただきました。

本校の理科は、高校1年生で、物理基礎と生物基礎を行い、高校2年生の文系は化学基礎を理系は、前期化学基礎を行い後期より化学となります。理系クラスは3年間理科が授業があります。

4 合評会 14:45～15:45

担当者の反省があった。

【課題】

- ・実験は危険がつきもので安全確認が大切である。髪の毛の長い生徒や服装が乱れている生徒の事前の指導が必要である。全員白衣を着せてやりたい。参加している学校で1校（特別なクラスのみ）全員白衣を購入させている。
- ・実験・観察での評価はどのように成績にくみいれているのか？報告書を出させているが、各担当者の主観となり明確な評価の基準が作れない。
- ・授業の中にどんだけ、実験、観察を盛り込んだらいいのか。
- ・学年間の連携については、学校独自のシラバスを徹底させることが大変重要なことであり、実験や観察を含めた内容のものを入れていくべきだと思う。また、時代を見据えた内容も盛り込む必要もある。

【専門部長からのまとめ】

多くの意見が出て良かったと思います。各学校に戻って生徒の好奇心を刺激する授業を研究しそのような授業を行ってもらいたい。今回の公開授業はその一つとして参考にさせていただきさらに良い授業に繋げてもらいたい。